通信 poco a poco

http://www.takagi-piano.com

発行人
高木ピアノサービス
六六二-〇九六二
西宮市松下町七-四六
電話・FAX
〇七九八（三六）〇一五一

おめでとうございます

あけまして、おめでとうございます。「高木ピアノサービス」のお客様には、このニュースレターをもって新年のご挨拶とさせて頂きます。

調律にお伺いすると、「いいですね～、あちこち海外へ行けて」「去年はどちらまで？」と、声を掛けて頂くのですが、昨年は、まったく何処へも出掛けていません。やっぱり海外はいいですよね。今回、その代わりと言っては何ですが、あちこちの研修会に参加したり、ネットの世界から問合せのあったお客様とのドラマがあったりと、お役に立てそうなものも色々あり、感想を含めて報告します。

GEYER

実は、もう一昨年の話になりますが、ホームページから問合せのメールが入りました。

「実は我が家に何年物かもわからない旧東ドイツ製だというガイヤーのアップライトがあります。購入したのは20年以上前で、既に中古でした。10年前の時点で当時調律していただいていた方から、弦などの耐久性の問題でもう調律は限界だと言われ、それ以後はしてもらっていません」

まだまだ、文章は続きますが、要するに、『愛着のあるピアノなので何とか修理をしたいので見に来て貰えませんか』とこんな内容でした。で、色々とメールのやり取りをしていて、長野県諏訪郡富士見町まで行くことになったんです。このお客様のためにだけ行くことになれば、交通費もバカにならないので、それから10ヶ月ほど経ってから関東方面の出張を兼ねてお伺いしました。

お客様に行き方を尋ねると、「東京からなら『特急あずさ』がいいですね」「えっ『あずさ』って、あの、8時ちょうどの『あずさ2号』ですか？」そんな訳の分からない会話をしていました。

「8時ちょうどの、あずさ2号で～♪　私は私はあなたから～　旅立ちます～♪」

流行りましたね～。昭和52年「狩人」と言う兄弟歌手のデビュー曲です。

今は8時ちょうどの『あずさ2号』は無いようですね。それに『あずさ2号』は信州から東京へ向かう特急でした。

話は横道に逸れましたが、お客様には11：00くらい到着の予定を知らせて駅まで迎えに来て貰うことにしました。実際には八王子からでしたから2時間チョットの旅でした。駅に着いて暫くするとお迎えの車が来てご自宅までお伺いしました。いよいよ、ピアノとの対面です。ピアノの外装を外し中のを見せて貰うと、以前に扱ったことのある「ツィンマーマン」と、全く一緒の中身でした。

ドイツでは数社のブランドが集まって共同体を作り、部品を共有しあって自社ブランドのピアノを造ることはよくあるようです。

早速、ピアノの何処が悪いのか触ってみないと分かりませんので、ざっと一通り調律をしてみました。やはり、前の調律師が言われた通りピアノ線の張力が維持できる限界くらいですから、すぐ狂うのは仕方ありません。お客様には、大体の修理金額をお知らせしてから、街でのお蕎麦をご馳走になり帰りました。

「修理をするには、少し大きな金額が必要なので、改めて家族と相談します」とメールでの連絡が入りました。まだ、修理の依頼は来ていませんが、ガイヤーというブランドのピアノをネットで探しても見つからないので、色んなピアノを触ったことのある「高木ピアノ」なら知っているかもしれないと思われたようです。

お客様には交通費だけ頂きましたが、1日を十分楽しませて頂きました。「ネットの世界は怖い」と思われている方も多いと思いますが、インターネットならではの出会いがあり一期一会を大切にしていきたいですね。

おねがい

今回は東ドイツ製のピアノでしたが、日本の古いピアノも処分しないで修理をして使って下さいね。良いものを一生懸命造ろうとしていた時代のピアノはとても良い材料が使われています。大切にしましょう。

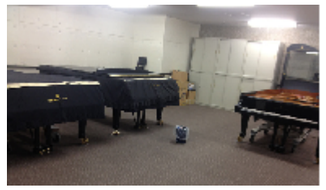
フェスティバルホール　OPEN

昨年の4月に新しく生まれ変わったフェスティバルホールがオープンしましたね。実はオープン前にピアノ調律を兼ねて、中を案内して貰いました。演奏会を聞きに行けばホールは見られるでしょうが、楽器庫と楽屋をチラッと紹介しようと思いまして…。今までのホールはイベントホールとして有名でしたが、今回、音響効果も相当意識して設計されたようです。座席数は以前と同じく二七〇〇席です。

車椅子：　三〇席
1階：一五四四席
2階：　五六四席
3階：　五六〇席
バルコニーBOX：三二席

このホール一番の楽屋です

今回、調律をしたピアノは楽屋に設置された2台のアップライトピアノです。このピアノが置いてある楽屋がけっこう気持ちのの良い部屋で、ちょっとしたマンションの1室みたいでした。それがこの部屋です。このホールの中でも一番眺めもよく、広くて綺麗な楽屋です。大きなガラスの向こうには土佐堀川を眺め、部屋の東側にはバルコニーがあります。友人の担当調律師は「ここで暮らせるな」と言ってました。



楽器庫

この部屋が楽器庫です。なんとフルコンサートグランドが8台も収納可能です。このピアノの横にはアップライトピアノが1台と電子ピアノ1台が置いてあり、温度・湿度が24時間管理されています。

スタインウェイ研修

もう20年以上前からスタインウェイの研修会には参加しているのですが、スタインウェイの部品を正規に入手しようとするとスタインウェイ会の会員であることが条件です。それでも、特に入会することはないだろうと思っていましたが、市民会館やスタインウェイアーティストの仕事をする事が多くなり、「こりゃ入会しないと具合悪いぞ」という雰囲気になり、入会後、研修を受け正会員になりました。

すべて新品の売り物です

去年の5月、3年ぶり2回目の研修に行ってきました。4年前はスタインウェイ会に入って最初の研修でしたが二人で1台のピアノを仕上げる初期の段階の研修でした。現場では、スタインウェイを触っているものの、スタインウェイ社の人から直接教えてもらうことに緊張と新鮮さがありました。今回は、さらに深く追求した研修になり、一千万円を超える新品のピアノの出荷調整を兼ねての研修です。やっぱり新品のピアノは気を使いますね。講師は高木より20歳くらい若いのですが精度の高い仕上がりにはビックリです。すでに一千台を超える新品のピアノを調整し出荷しているベテラン調律師です。

ここは品川区の大井町埠頭にある倉庫の一画ですが、数十台の新品ピアノを管理するだけでなく、日本中から注文のあるスタインウェイピアノの検品と試弾のできるところでもあります。

高木ピアノからお求めのスタインウェイピアノは、日本のトップピアニストが名を連ねているスタインウェイアーティストが、ピアノ選定のお手伝いいたします。

＊「スタインウェイアーティスト」

スタインウェイ社がスタインウェイのピアノを持っているピアニストを審査して「スタインウェイアーティスト」として認定をしています。スタインウェイのホームページで確認してください。有名なピアニストが名前を連ねています。日本では40人ほどのピアニストが認定されています。

製造番号＃593496

ホテルケーニヒスクローネ神戸　オープン

神戸では有名な洋菓子のお店「ケーニヒスクローネ」が新たに　ホテル「ケーニヒスクローネ神戸」を12月17日にオープンしました。場所は旧居留地に近い神戸朝日ホールの北側の道路あたりです。すでに結婚式の二次会や同窓会など各種パーティに利用できる直営店の「レアル　プリンセサ・リカルディーナ　磯上邸」がありますが、よほど社長さんの思いが強かったのか、ホテル建設となったようです。

なぜ、この話題をするかといえば、2階にあるレストラン「くまポチ邸」にスタインウェイのピアノが納められたからです。このピアノには納品前から関わり、ピアノの選定やピアノの仕上がりなどを見に群馬県まで足を運び、ピアノが納入するまでを見届けました。ホテルの画像は、調律が終わって帰る時に写したものです。これからも、このピアノを担当することになりましたので、是非、遊びに来てください。

「ケーニヒスクローネ神戸」
兵庫県神戸市中央区三宮町2丁目3－10

グランフィール取付研修

グランドピアノが欲しい、でも…

置き場所が確保できない。そこまで予算が出せない。

色んな理由があると思いますが、早い話、今使っているアップライトピノが、グランドピアノみたいなタッチになる装置です。「えっ、どういうこと？」って思うでしょうが、それには先ず、アップライトピアノとグランドピアノの違いから説明しましょう。

アップライトピアノはピアノ線が垂直に張られているために、ピアノ線を打つハンマーの動きに少し制約があります。これに比べ、グランドピアノは、ピアノ線が水平に張られているので打弦したハンマーは、そのまま下に戻ります。この差が大きく違うタッチとなります。

要するに、アップライトピアノでは、鍵盤が上まで戻るとハンマーは次の打弦体勢になり、グランドピアノでは鍵盤の半分が戻れば、次の打弦体勢になります。その結果、アップライトピアノでは、1秒間に5～6回の打弦に対しグランドピアノでは約2倍の12～13回の連打が可能です。グランフィールは、この2倍の差が無くなり限りなくグランドピアノのような連打が可能となります。グランフィールの取り付けには、資格が必要ですから、その研修を受け資格を取得しました。

＊取り付けには、ピアノ本体を動かす必要はありません。

販売価格：二十一万円
（税込み・取り付料込み）

お申し込み　お問い合わせ
高木ピアノサービスまで。

グランフィール取付研修中